

11月6日

盛山氏側に教団機関誌

地元事務所へ毎月無料先月も

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の友好団体が、盛山正仁（文部科学相の地元事務所（神戸市）宛てに、教団系の機関誌を毎月無料で発送している」といふが、関係者への取材でわかった。安倍晋三元首相銃撃事件で教団の高額献金などの問題に批判が高まつて以降、受け取り側が機関誌を送らないよう教団側に連絡して発送が停止されたケースが複数あるが、盛山氏側からはそうした意思表示はないといい、先月も送られていた。

▼3面=窮地の政権、28面=「関係断つた」はずが

機関誌は、教団の友好団体の会員向け月刊誌「世界思想」。毎号に教団創始者の故・文鮮明氏のメッセージなどが掲載されている。

盛山氏は教団友好団体から衆院選で推薦状を受け取っていたとされる問題をめぐり、「既に関係を断つている」と強調し

てある。朝日新聞は機関誌の受け取りについて事務所に文書でたずねたが、事務所は「朝日新聞の取材には答えない」としている。

関係者によると、世界思想は1冊800円で、盛山氏の事務所に長年無料で送られているとい

復興相（当時）が代表の自民党宮城県第2選挙区支部が21年7月に1年分の購読料を支出していたことが国会で追及された。盛山氏の事務所に世界思想を郵送している世界平和連合兵庫県連合会は「政策の参考や国内外の政治情勢の分析に役立てほしい思いで贈呈してきた」としている。世界思想をめぐつては安倍元首相銃撃事件以降、「発送をやめてほしい」という連絡が教団友好団体に複数寄せられている。かつて無料で受け取っていたという元衆院議員は「問題が表面化し、すべての関係を断ちたいと相手側に伝えてから、発送は中止された」と話す。（編集委員・沢伸也、高畠暉介）

「自民の点検 甘さ露呈」

教団の問題を長年取材してきたジャーナリストの鈴木エイト氏の話 世界思想は教団の思想が色濃い。関係を切っていると言ふ自民党の議員に今も送られているのは道義的に問題だ。郵送を断れないほど関係が深いのか、ほとばりがさめたら関係を復活させたいのか、という疑惑を持ってしまう。自民党の点検の甘さが露呈した形となった。教団との関係を蒸し返されたことを、首相や盛山氏は不満に思っているだろうが、その原因は自分たちの調査の甘さからきたものであることを自覚すべきだ。本気で関係を断つなら、教団と自民党がどういう形で付き合ってきたのかを、第三者などを入れて調査し直すべきだ。

立憲民主党は19日、自民党の盛山正仁文部科学相の不信任決議案を衆院に提出した。世界平和統一家庭連合との接点が指摘されているが、国会で「記憶がない」と繰り返し答弁し、批判が出ていた。

岸田文雄首相は19日、記者団に「過去の関係はともかく現時点においては当該団体と一切関係がない」と続投させる考え

立憲が不信任案を提出

立憲民主党は示した。不信任案は20日の衆院本会議で採決され、自民などの反対多数で否決される見通しだ。国は教団の解散命令を請求しており、22日に東京地裁が双方から意見を聞く審問が予定されている。立憲は不信任案の中で、「国民から疑念を抱かれて公正な審理を進めることは不可能だ」と断じた。共産党と国民民主

党は賛成、日本維新の会は反対に回る見込みだ。19日には自民、立憲両院の国会対策委員長が会談。自民派閣の裏金問題を受け、野党が求める衆院政治倫理審査会の開催について協議したとみられる。新年度予算案の中、野党側は不信任案提出で自民側を指さる狙いもある。(三輪さち子)